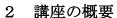
講座名 第2回 -

人頭税廃止を巡る宮古島の陰の立役者達

宮古教育事務所

1 講座の趣旨

人頭税廃止運動に関しては、新潟県出身の中村十作、沖縄本島出身の城間正安の活躍はよく知られているが、実際の立役者であった宮古島出身の人達については語られる機会は少ない。これらの人達にスポットを当て、人頭税廃止運動について宮古島市民の目線で学習する。なお、昨今話題となっている「人頭税はなかった」についても講義し、講義後は関連史跡を訪ねて祖先の功績を確認する。



パワーポイントを利用し、多くの映像 を使用する。講義後、マイクロバスを利 用し視察を行う。



3 共催 なし

4 講座内容

口	日時	場所	内 容	講師名	受講者数
2	8月26日(土) 13:30~17:00	①宮古教育事 務所研修室 ②島内史跡	①人頭税廃止運動に関する 宮古島の立役者達の講義 ②人頭税廃止運動に係る島 内史跡4カ所の視察	下地 和宏 氏 宮古郷土史研究会長	20人

5 成果

・人頭税については、名前は知っているが、具体的内容については詳らかでない人が結構いた。 特に、廃止運動に関わった宮古の人達については、殆ど知られておらず、講座をとおし大変勉 強になったとのアンケート回答が多かった。また、講師が作成したパワーポイントは、写真や イラスト等を豊富に使用し、とても分かりやすかったとの評価が多かった。

6 課題

・次回から1階ロビーに会場の場所を掲示する。

宮古島の争乱~与那覇原軍をめぐる~

- 宮古教育事務所

1 講座の趣旨

宮古の歴史上も群雄割拠の時代があった。特に目黒盛豊見親と与那覇勢頭豊見親との戦いは熾烈を極め、石積み(城遺跡)や滅亡された村落等の古戦場跡が点在する。これらを学習し、現地を訪ねることにより宮古の古(いにしえ)の歴史に触れ、今後の宮古のあり方について考える。

2 講座の概要

パワーポイントを利用し、多くの映像 を使用する。講義後、視察を行う。

3 共催 なし





4 講座内容

口	日時	場所	内 容	講師名	受講者数
3	9月23日(土) 13:30~17:00	①宮古教育事 務所研修室 ②島内史跡	①宮古島の石積み遺跡(城)と 古戦場に係る講義 ②島内に在る石積み遺跡(城) 及び古戦場の視察	久貝 弥嗣 氏宫古島市教育委員会学芸員	16人

5 成果

・宮古島の歴史の一大転換期である与那覇原軍について、詳細に説明がされた。また、現地視察でも解説が分かりやすく、参加者の満足度は高いものがあった。今後も同様な学習をしたいとの声が多数あるので、それに応えていきたい。

6 課題

・説明内容の言葉が小・中学生には理解が少し困難であったとの意見があった。今後は講師に 噛み砕いての説明をお願いしていきたい。

講座名 第4回

サトウキビの歴史の学習と黒糖作りに挑戦!!

宮古教育事務所

1 講座の趣旨

サトウキビ栽培は宮古の主要産業であり沖縄全体の生産量の約半分をしめている。宮古におけるサトウキビ栽培の歴史と現状・将来そして課題について学習する。それを踏まえて、シートーヤー(製糖家)にて実際にサトウキビの絞りから煮立てまでの黒糖作りに挑戦する。

2 講座の概要

講義は、パワーポイントを利用し、収穫 時のハーベスターや機械による植え付け の動画等、多くの映像を使用する。

その後、実習で黒糖作りを行う。



3 共催 なし

4 講座内容

口	日時	場所	内 容	講師名	受講者数
4	2月3日(土) 13:30~15:00	宮古教育事務所研修室	サトウキビ栽培の 歴史に係る学習	平良 正彦 氏 沖縄県農業研究センター 宮古島支所長	22人

5 成果

- ・参加者のほぼ全員から、沖縄県全体の生産量の約半分を占める宮古の基幹産業であるサトウキビについて、勉強になったとの感想があり、大変有意義な講義であった。
- ・特に今回は小・中学生の参加が24人中11人と多く、今まで知らなかった事をたくさん知ることができてとても良かったとの声があった。また、中学校の新聞部の部員が初めて数人参加したので、学校における県民カレッジの広報が期待できる。

6 課題

・残念ながら悪天候で後半部分の黒糖作りが中止となった。今後もあり得ることなので、中止となった場合の代替案の準備及び時期に見合った内容を検討する必要がある。講師の農研センター平良支所長によると、同センターにもサトウキビ絞り機と煮出し鍋が屋内にあるとのことなので、次回実施については、同センターでの実施も検討する。

講座名 第1回

1 講座の趣旨

いにしえから伝わる、装飾品(アクセサリー)の歴史、護符としての貝のいわれについて学び、身近な護符としての貝の存在について認識を新たにする。また、夜光貝を使ったキーホルダー作りの実習を通して、貝細工製造の一工程を体験する。

2 講座の概要

- ① 期 日 平成29年6月25日(日)
- ② 時 間 9:00 ~ 12:00
- ③ 学習時間 3時間
- ④ 場 所 石垣青少年の家
- ⑤ 受講者数 21名

3 共催 なし





4 講座内容

口	日時	場所	内 容	講	師 名	受講者数
1	6月25日(日) 9:00~12:00	石垣青少年 の家研修室	開講式並びに護符としての貝の いわれ (キーホルダー作り)	中村	玄斗 氏	21名

5 成果

- ・「護符としての貝のいわれ」の講座を通して、「郷土の素材を通して、やいまのよさに気づく」 の学習課題に迫れた。
- アクセサリーの歴史的な背景を学べた。
- 護符としてのアクセサリー、シーサー模様等の持つ意味はとても興味深かった。
- 貝の装飾品の出土に関してとても勉強になった。
- ・ お守りとしての貝にも、様々な意味があることを知った。
- ・ 八重山の人々が古来から世界中と交易をし、平泉にもインドにも八重山産の夜光貝を使用した 歴史的遺産が残されていることに感銘をうけた。
- ・ 貝のキーホルダー作りを通してアクセサリーの歴史を掘り下げ、色々、生活の視点に変化を持ってとができた。
- 耐水ペーパーを段階的に使い、磨けば磨くほど光るのでやりがいがあった。

- ・後の講座の実施で、開講式前の受付が混雑していた。実施要項、受講者への通知に受付時間等 の設定が必要だった。
- ケ席者への講座内容、実習の手順等の伝達、教材の配布が方法に難がある。

講座名 第2回 —

やいま 再発見!「やいまの夜空と星文化」

八重山教育事務所

1 講座の趣旨

七夕の夜空を鑑賞する七夕観望会、九州で最大級の反射望遠鏡「むりか星」による惑星(木星、土星)の観察と携帯での撮影会、最新の3Dメガネで天体や宇宙の姿を目の当たりにし宇宙の果てまでの壮大な旅行等4D2U(4次元デジタル宇宙)の映像鑑賞を行う。

2 講座の概要

① 期 日 平成29年7月7日(金)

② 時 間 19:00 ~ 22:00

③ 学習時間 3時間

④ 場 所 石垣島天文台

⑤ 受講者数 23名

3 共催 なし

4 講座内容





口	日時	場所	内 容	講	師 名	受講者数
2	7月7日(金) 19:00~22:00	石垣島天文台	・八重山の星文化・石垣島天文台から見た星空・4D2U(宇宙空間の旅)・むりかぶしでの観察・星空観望会(七夕観望会)	通事花山	安夫 氏秀和 氏	23 名

5 成果

- ・「やいまの夜空と星文化」の講座を通して、「郷土の素材を通して、やいまのよさに気づく」 の学習課題に迫れた。
- ・ 宇宙について、星について、生活との関わりについてとても分かりやすい説明だった。
- ・ 八重山から見える星座が84個あり、全国一多くの星座が見える場所である。
- 太陽系、銀河系と云う言葉は聞いて知っていたが、どのような関係か初めて知った。地球は大きいと思っていましたが、実は宇宙の中ではちっぽけなんだと改めて感じた。
- 内容がすごく深く、もっと勉強してから理解を深めようと思った。
- · 4D2U、銀河系の内容。
- ・ 星座を身近に感じた。
- ・ VERAに関すること、沖縄の星の方言等。

- ・ このような素晴らしい施設をもっと市民に広く呼びかけて、身近に感じられる取り組みをたく さん企画して活用していただきたい。
- 星文化に関する継続的な講座開設、時間不足、気象に関しての開設時期の配慮等。

講座名 第3回

1 講座の趣旨

島の素材にこだわったソーセージ作りで、島の素材、行程について学び、実習を行う。

石垣の塩で 72 時間塩漬した島産もろみ豚のミンチに、粗挽きとピパーツ、長命草、レモングラス、島唐辛子のそれぞれの島素材を活用した5種類のソーセージ作りを通して、島素材の豊かさを知る。

2 講座の概要

① 期 日 平成29年7月30日(日)

② 時 間 10:00 ~ 13:00

③ 学習時間 3時間

④ 場 所 石垣市健康福祉センター

⑤ 受講者数 22名

3 共催 なし





4 講座内容

口	日時	場所	内 容	講師名	受講者数
3	7月30日(日) 10:00~13:00	石垣市健康福 祉センター	・石垣島産ソーセージにおける 島素材について学ぶ・ソーセージ作りの行程を知る・ 5 種類の島の香辛料を活用したソーセージ作りと試食会	平野 啓文 氏	22 名

5 成果

- ・「島素材の活用(ソーセージ作り)」の講座を通して、「郷土の素材を通して、やいまのよさに気づく」の学習課題に迫れた。
- 島の香辛料が、このようにソーセージ等に使用されていることを知った。
- 島産のもろみ豚についてあまり知らなかったので学習できて良かった。
- ソーセージの分類、ボイルの温度管理、下味の大切さ、島素材の素晴らしさを知った。
- おいしいソーセージを作るための知識や技術、腸詰めの技術の難しさがよく分かった。
- もろみ豚の熟成について、これからの調理の参考にしたい。
- ・ 素材にこだわる大切さ、島の宝を活かす工夫の大切さ。
- ・ 健康面、安全面を考えたら島産品の愛用は大事。

- ・ 実習を伴う講座でのグループ編制と受講者の交流。 (アンケートから) 実習を通して、グループの方と話しやすくする為にも、ネームプレートを準備する必要がある。
- ・ 参加者のアンケートから、平日開催等の開催期日の問題があった。
- ・ 無断での遅刻や欠席の受講生への対応。

講座名 第4回

やいま 再発見!「島素材の活用(薬膳料理作り)」

八重山教育事務所

1 講座の趣旨

薬膳について、また、身近な島の野菜の効果・効能、性質や食味とその働きや作用等について学び、「食べる健康!島野菜で夏のかんたんな薬膳」をテーマに、地域素材の夏野菜を使った夏の薬膳料理作りと試食会を行う。

薬膳料理作りを通して、身近な島の野菜 (素材)の豊かさを知る。

2 講座の概要

① 期 日 平成29年8月6日(日)

② 時 間 10:00 ~13:00

③ 学習時間 3時間

④ 場 所 石垣市健康福祉センター

⑤ 受講者数 21名

3 共催 なし

かきなかり



4 講座内容

口	日時	場所	内 容	講	師 名	受講者数
4	8月6日(日) 10:00~13:00	石垣市健康福 祉センター	・薬膳について学ぶ ・身近な島食材の効果、効能、 性質や食味とその働きや作用 について学ぶ ・夏の薬膳作りと試食会 ・閉講式	石井	早苗 氏	21 名

5 成果

- ・「島素材の活用(薬膳料理作り)」の講座を通して、「郷土の素材を通して、やいまのよさに 気づく」の学習課題に迫れた。
- ・ 心を活かす素材という観点で島のものを理解できたことが有意義だった。
- ・ シブイの皮、種も利用すること、島の素材の効用を理解できた。
- ・味付け、食材によって体内の熱を冷やすなどの効用があることを知った。
- ・ 薬膳、中医学のエッセンスを学ぶことができた。
- 身近な食材、薬草に関する知識と活用法を体験的に学べたこと。
- ・ 食と体のつながりを知れたこと。
- ・ 身近な食材で研修できたこと。

- ・ 実習を伴う講座でのグループ編制と受講者の交流。
- ・ 調理等の実習を伴う講座では、講師の食材準備、下ごしらえ等事前準備が大変である。
- ・ 参加者のアンケートから、平日開催ができないか等の開催期日の問題があった。
- ・ 無断での遅刻や欠席の受講生への対応。-30-

(4) 学校開放講座

講座名

名護地域ガイドツアー

- 沖縄県立名護商工高等学校

1 講座の趣旨

地域(羽地地区)の自然や歴史、文化について理解を深める。また、学習した知識をもとに、地域住民を対象にガイドの実践を図る。さらに、地域の方たちとの交流を図り、言語活動を通してのコミュニケーション能力の育成を図る。

2 講座の概要

名護商工高校地域産業科生徒を講師と して、地域(羽地地区)の自然や文化について学習する。

- (1) 事前学習講話 9:30~10:30
- (2) 羽地観光ガイド 10:40~11:45 (名護市公民館バスにて移動)
- ①金川銅山跡 →②勘手納港 →
- ③羽地川碑記 →④親川城跡

3 連携協力

名護市青少年育成協議会羽地支部

4 講座内容





口	日時	場所	内 容	講師名	受講者数
1	12月12日(火) 9:30~11:45	羽地支所 羽地地域 名所	①事前学習 ②フィールドワーク	名護商工高 校地域産業 科2年生	12人

5 成果

- ・地域の文化財及び歴史の継承を図るため地域と高校生が授業を通して交流できた。
- ・高校生のさわやかな解説から今後のガイドの在り方のヒントを得ることができた。
- ・生徒たちが誇りをもって地域を大切にしていく姿がとても素晴らしい。

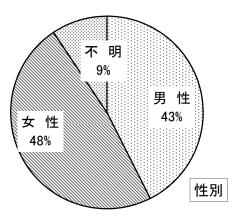
- ・方言や地域の生殖する植物や生物などの説明もできると良い。
- ・多くの方に参加してもらうために情報発信が必要。
- ・これで終了ではなく今後、地域おこしにどうつなげていくかを考える必要がある。

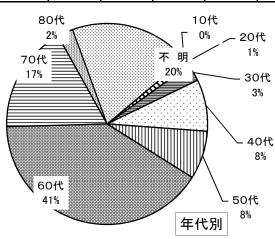
4 主催講座受講生アンケートより

- (1) 平成29年度主催講座受講生の状況
 - ① 美ら島沖縄学講座

年代別受講者数

	1 4/3 7/	\sim m $_{\rm H}$ \sim \sim										
		~9歳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	不 明	計
男	性	0	0	2	16	42	28	152	85	9	44	378
女	性	0	0	9	8	32	41	209	69	13	46	427
不	明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	83	83
	計	0	0	11	24	74	69	361	154	22	173	888





市町村別受講者数

		1 1 7 7 7		<i>7</i> 9 \									
	市	部	那覇市	宜野湾市	石垣市	浦添市	名護市	糸満市	沖縄市	豊見城市	うるま市	宮古島市	南城市
	男	性	136	8	17	24	3	5	9	11	9	23	12
	女	性	127	9	15	21	14	11	5	16	5	25	14
	不	明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
l	言	+	263	17	32	45	17	16	14	27	14	48	26

	市部計
男 性	257
女 性	262
不 明	0
計	519

町木	寸部	国頭村	大宜味村	東村	今帰仁村	本部町	恩納村	宜野座村	金武町	伊江村	読谷村	嘉手納町
男	性	1	0	0	0	0	1	1	3	0	9	4
女	性	0	1	0	0	0	2	0	0	0	13	2
不	明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	+	1	1	0	0	0	3	1	3	0	22	6

町村部	北谷町	北中城村	中城村	西原町	与那原町	南風原町	渡嘉敷村	座間味村	粟国村	渡名喜村	南大東村
男 性	0	5	4	8	1	8	0	0	1	0	0
女 性	2	5	7	7	1	14	0	0	0	0	0
不 明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	2	10	11	15	2	22	0	0	1	0	0

町村	寸部	北大東村	伊平屋村	伊是名村	久米島町	八重瀬町	多良間村	竹富町	与那国町
男	性	14	0	18	0	6	0	13	0
女	性	20	0	53	0	2	10	9	0
不	明	0	0	0	0	0	0	0	0
Ī	H	34	0	71	0	8	10	22	0

	町村部
男 性	97
女 性	148
不 明	0
計	245

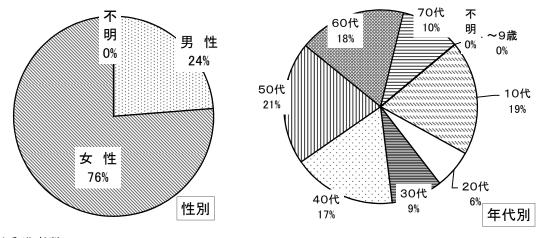
	不 明
男 性	25
女 性	14
不 明	85
計	124

		市部計	町村部計	不 明	計
男性	<u>‡</u>	257	97	25	379
女性	<u>‡</u>	262	148	14	424
不 月	月	0	0	85	85
計		519	245	124	888

② 広域学習サービス講座

年代別受講者数

		1/1/1/											
			~9歳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	不 明	計
	男	性	0	43	19	7	27	19	14	10	0	0	139
	女	性	0	69	19	43	74	101	91	49	0	0	446
	不	明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ī	言	+	0	112	38	50	101	120	105	59	0	0	585



市町村別受講者数

1131.	1,11/	八人叶口	<i>3</i> ^									
市	部	那覇市	宜野湾市	石垣市	浦添市	名護市	糸満市	沖縄市	豊見城市	うるま市	宮古島市	南城市
男	性	22	16	11	22	9	1	5	0	0	37	0
女	性	47	7	76	56	23	17	7	42	10	34	25
不	明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	 	69	23	87	78	32	18	12	42	10	71	25

	市部計
男 性	123
女 性	344
不 明	0
計	467

町村部	国頭村	大宜味村	東村	今帰仁村	本部町	恩納村	宜野座村	金武町	伊江村	読谷村	嘉手納町
男 性	0	0	0	0	4	0	4	0	0	0	0
女 性	0	0	0	8	20	0	8	8	0	4	0
不 明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	8	24	0	12	8	0	4	0

町村	寸部	北谷町	北中城村	中城村	西原町	与那原町	南風原町	渡嘉敷村	座間味村	粟国村	渡名喜村	南大東村
男	性	0	4	0	0	0	5	0	0	0	0	0
女	性	3	6	0	1	14	15	0	0	0	0	0
不	明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	†	3	10	0	1	14	20	0	0	0	0	0

町	村部	北大東村	伊平屋村	伊是名村	久米島町	八重瀬町	多良間村	竹富町	与那国町
男	性	0	0	0	0	0	0	0	0
女	性	0	0	0	0	14	0	0	0
不	明	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	14	0	0	0

	町村部
男 性	17
女 性	101
不 明	0
≣∔	118

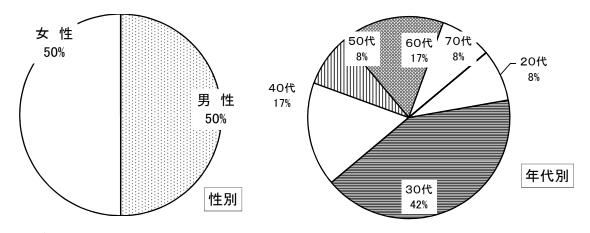
		不	明
男	性		0
女	性		0
不	明		0
計	+		0

		市部計	町村部計	不 明	計
男	性	123	17	0	140
女	性	344	101	0	445
不	明	0	0	0	0
言	+	467	118	0	585

③ 学校開放講座

年代別受講者数

		CHI D DY										
		~9歳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	不明	計
男	性	0	0	0	2	1	0	2	1	0	0	6
女	性	0	0	1	3	1	1	0	0	0	0	6
不	明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	}	0	0	1	5	2	1	2	1	0	0	12



市町村別受講者数

		YZTHI H										
市	部	那覇市	宜野湾市	石垣市	浦添市	名護市	糸満市	沖縄市	豊見城市	うるま市	宮古島市	南城市
男	性	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0
女	性	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0
不	明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ē	H	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0

	市部計
男 性	6
女 性	6
不 明	0
計	12

町	村部	国頭村	大宜味村	東村	今帰仁村	本部町	恩納村	宜野座村	金武町	伊江村	読谷村	嘉手納町
男	性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不	明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

_		<u>-</u>	='	=	<u>-</u>	-	-	=	<u> </u>		0	
町村	讨部	北谷町	北中城村	中城村	西原町	与那原町	南風原町	渡嘉敷村	座間味村	粟国村	渡名喜村	南大東村
男	性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不	明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	:	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

町	村部	北大東村	伊平屋村	伊是名村	久米島町	八重瀬町	多良間村	竹富町	与那国町
男	性	0	0	0	0	0	0	0	0
女	性	0	0	0	0	0	0	0	0
不	明	0	0	0	0	0	0	0	0
Ī	計	0	0	0	0	0	0	0	0

	町村部
男 性	0
女 性	0
不 明	0
計	0

	不 明
男 性	0
女 性	0
不 明	0
計	0

	市部計	町村部計	不 明	計
男 性	6	0	0	6
女 性	6	0	0	6
不 明	0	0	0	0
計	12	0	0	12

②広域学習サービス講座 (各教育事務所 受講者の内訳 ※延べ人数) 計 ~ 9歳 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代 不 明 性 0 0 16 16 () () 国頭教育 性 女 31 0 8 24 0 64 () 事務所 不 明 () 0 0 0 () () 0 0 計 24 80 47 0 8 () 0 () 0 ~9歳 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代 明 計 不 性 0 0 0 11 中頭教育 女 性 3 6 16 10 3 0 43 0 () 事務所 不 明 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 計 () 5 16 16 3 \odot 0 54 20代 ~9歳 10代 40代 50代 70代 80代 明 計 30代 60代 不 性 25 15 8 0 54 6 那覇教育 87 女 性 32 17 26 事務所 不 明 0 () 0 () () 0 0 0 () 141 計 57 3 13 41 25 0 1 計 ~9歳 10代 20代 40代 50代 60代 70代 80代 30代 不 眀 男 性 0 0 10 島尻教育 女 性 0 0 5 48 48 41 142 事務所 不 眀 0 00 0 0 計 0 0 5 53 46 152 0 0 48 0 明 ~9歳 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代 不 計 性 18 7 37 宮古教育 34 女 性 0 10 0 事務所 不 明 0 0 0 0 0 0 () 0 28 71 計 8 5 14 13 2 50代 ~9歳 10代 20代 30代 40代 60代 70代 80代 不 明 計 性 () () 0 0 0 11 八重山教 女 性 0 0 0 26 32 76 11 育事務所 明 不 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 15 87 計 0 \circ 30 32 10 ~9歳 20代 30代 40代 50代 60代 80代 計 10代 70代 不 明 男性 0 43 19 27 19 14 10 139 6教育事 女性 67 19 43 74 101 91 49 0 0 446 務所合計 不明 () 0 0 0 0 () 0 0 0

120

105

101

59

0

585

38

110

50

合計

②広域学習サービス講座 (各教育事務所 受講者の在住市町村内訳)

	市部	那覇市	宜野湾市	石垣市	浦添市	名護市	糸満市	沖縄市	豊見城市	うるま市	宮古島市	南城市
	男 性	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0
	女 性	0	0	0	0	20	0	0	0	0	0	0
	不 明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	28	0	0	0	0	0	0
	町村部	国頭村	大宜味村	東村	今帰仁村	本部町	恩納村	宜野座村	金武町	伊江村	読谷村	嘉手納町
	男 性	0	0	0	0	4	0	4	0	0	0	0
	女 性	0	0	0	8	20	0	8	8	0	0	0
	不 明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国頭教育	計	0	0	0	8	24	0	12	8	0	0	0
事務所	町村部	北谷町	北中城村	中城村	西原町	与那原町	南風原町	渡嘉敷村	座間味村	粟国村	渡名喜村	南大東村
	男 性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女 性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	不 明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	町村部	北大東村	伊平屋村	伊是名村	久米島町	八重瀬町	多良間村	竹富町	与那国町			不 明
	男 性	0	0	0	0	0	0	0	0		男 性	0
	女 性	0	0	0	0	0	0	0	0		女 性	0
	不 明	0	0	0	0	0	0	0	0		不明	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0		計	0

	市部	那覇市	宜野湾市	石垣市	浦添市	名護市	糸満市	沖縄市	豊見城市	うるま市	宮古島市	南城市
	男 性	1	4	0	2	0	0	5	0	0	0	0
	女 性	1	3	0	12	0	0	7	0	10	0	0
	不 明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	2	7	0	14	0	0	12	0	10	0	0
	町村部	国頭村	大宜味村	東村	今帰仁村	本部町	恩納村	宜野座村	金武町	伊江村	読谷村	嘉手納町
	男 性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女 性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中頭教育	計	0	0	0	0	V	0	0	0	0	4	0
事務所	町村部	北谷町	北中城村	中城村	西原町	与那原町	南風原町	渡嘉敷村	座間味村	粟国村	渡名喜村	南大東村
	男 性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	町村部	北大東村	伊平屋村	伊是名村	久米島町	八重瀬町	多良間村	竹富町	与那国町	ı		不 明
	男性	0	0	0	0	0	0	0	0		男性	0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0		女性	0
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0		不 明	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0		計	0

国頭教育事務所

	市部計	町村部計	不 明	計
男 性	8	8	0	16
女 性	20	44	0	64
不 明	0	0	0	0
計	28	52	0	80

中頭教育事務所

	市部計	町村部計	不 明	計
男 性	12	0	0	12
女 性	33	9	0	42
不 明	0	0	0	0
計	45	9	0	54

	市部	那覇市	宜野湾市	石垣市	浦添市	名護市	糸満市	沖縄市	豊見城市	うるま市	宮古島市	南城市
	男 性	16	12	0	20	1	1	0	0	0	0	0
	女 性	22	4	0	44	3	8	0	6	0	0	0
	不 明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	38	16	0	64	4	9	0	6	0	0	0
	町村部	国頭村	大宜味村	東村	今帰仁村	本部町	恩納村	宜野座村	金武町	伊江村	読谷村	嘉手納町
	男 性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女 性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	不 明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
那覇教育	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務所	町村部	北谷町	北中城村	中城村	西原町	与那原町	南風原町	渡嘉敷村	座間味村	粟国村	渡名喜村	南大東村
	男 性	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女 性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	不 明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	町村部	北大東村	伊平屋村	伊是名村	久米島町	八重瀬町	多良間村	竹富町	与那国町	ı		不 明
	男 性	0	0	0	0	0	0	0	0		男 性	0
	女 性	0	0	0	0	0	0	0	0		女 性	0
	不 明	0	0	0	0	0	0	0	0		不 明	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0		計	0

	市部	那覇市	宜野湾市	石垣市	浦添市	名護市	糸満市	沖縄市	豊見城市	うるま市	宮古島市	南城市
	男 性	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女 性	24	0	0	0	0	9	0	36	0	0	25
	不 明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	29	0	0	0	0	9	0	36	0	0	25
	町村部	国頭村	大宜味村	東村	今帰仁村	本部町	恩納村	宜野座村	金武町	伊江村	読谷村	嘉手納町
	男 性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女 性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
島尻教育	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務所	町村部	北谷町	北中城村	中城村	西原町	与那原町	南風原町	渡嘉敷村	座間味村	粟国村	渡名喜村	南大東村
	男 性	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0
	女 性	0	5	0	0	14	15	0	0	0	0	0
	不 明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	5	0	0	14	20	0	0	0	0	0
	町村部	北大東村	伊平屋村	伊是名村	久米島町	八重瀬町	多良間村	竹富町	与那国町			不 明
	男 性	0	0	0	0	0	0	0	0		男 性	0
	女性	0	0	0	0	14	0	0	0		女 性	0
	不 明	0	0	0	0		0	0	0		不明	0
	計	0	0	0	0	14	0	0	0		計	0

那覇教育事務所

	市部計	町村部計	不 明	計
男 性	50	4	0	54
女 性	87	0	0	87
不 明	0	0	0	0
計	137	4	0	141

島尻教育事務所

	市部計	町村部計	不 明	計
男性	5	5	0	10
女 性	94	48	0	142
不 明	0	0	0	0
計	99	53	0	152

	市部	那覇市	宜野湾市	石垣市	浦添市	名護市	糸満市	沖縄市	豊見城市	うるま市	宮古島市	南城市
	男 性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37	0
	女 性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34	0
	不 明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	71	0
	町村部	国頭村	大宜味村	東村	今帰仁村	本部町	恩納村	宜野座村	金武町	伊江村	読谷村	嘉手納町
	男 性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女 性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	不 明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮古教育	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務所	町村部	北谷町	北中城村	中城村	西原町	与那原町	南風原町	渡嘉敷村	座間味村	粟国村	渡名喜村	南大東村
	男 性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女 性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	不 明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	•	0	0	0	0	0	0
	町村部	北大東村	伊平屋村	伊是名村	久米島町	八重瀬町	多良間村	竹富町	与那国町			不 明
	男 性	0	0	0	0	0	0	0	0		男 性	0
	女 性	0	0	0	0	0	0	0	0		女 性	0
	不 明	0	0	0	0	0	0	0	0		不 明	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0		計	0

	市部	那覇市	宜野湾市	石垣市	浦添市	名護市	糸満市	沖縄市	豊見城市	うるま市	宮古島市	南城市
	男 性	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0
	女 性	0	0	76	0	0	0	0	0	0	0	0
	不 明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	87	0	0	0	0	0	0	0	0
	町村部	国頭村	大宜味村	東村	今帰仁村	本部町	恩納村	宜野座村	金武町	伊江村	読谷村	嘉手納町
	男 性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女 性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	不 明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八重山教	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
育事務所	町村部	北谷町	北中城村	中城村	西原町	与那原町	南風原町	渡嘉敷村	座間味村	粟国村	渡名喜村	南大東村
	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女 性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	不 明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	町村部	北大東村	伊平屋村	伊是名村	久米島町	八重瀬町	多良間村	竹富町	与那国町	_		不 明
	男性	0	0	0	0	0	0	0	0		男 性	0
	女 性	0	0	0	0	0	0	0	0		女 性	0
	不 明	0	0	0	0	0	0	0	0		不 明	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0		計	0

宮古教育事務所

	市部計	町村部計	不 明	計
男 性	37	0	0	37
女 性	34	0	0	34
不 明	0	0	0	0
計	71	0	0	71

八重山教育事務所

	市部計	町村部計	不 明	計
男 性	11	0	0	11
女 性	76	0	0	76
不 明	0	0	0	0
計	87	0	0	87

6教育事務所 合計

	市部計	町村部計	不 明	計
男性	123	17	0	140
女 性	344	101	0	445
不 明	0	0	0	0
計	467	118	0	585

- (2) 講座を受けた動機
- ①美ら島沖縄学講座

教育庁生涯学習振興課実施

第1回講座

【組踊への誘い】

- ・組踊に興味・関心があった。
- ・組踊について、正しく理解したい。
- ・組踊の歴史や意味を知りたい。

教育庁生涯学習振興課実施

第2回講座

【お墓と琉球王権の王宮・王陵は意外な関係】

- 講座のタイトルに興味を持った。
- ・お墓について興味があり、知りたいと思った。
- ・琉球の歴史、文化に興味がある。

教育庁生涯学習振興課実施

第3回講座

【史料でみる沖縄の歴史その1

~琉球併合と明治期沖縄県政~】

- ・沖縄の歴史や文化に興味があった。
- ・琉球処分について興味があった。
- ・沖縄の事をもっと学びたかった。

教育庁生涯学習振興課実施

第4回講座

【比嘉光龍から学ぶうちなーぐち】

- うちなーぐちを学びたかった。
- ・うちなーぐちに興味・関心があった。
- ・講座名から講師について興味をもった。

教育庁生涯学習振興課実施

第5回講座

【史料でみる沖縄の歴史その2

~沖縄の戦前・前後~】

- ・沖縄の歴史を勉強したいと思った。
- ・沖縄の戦前・戦後について知りたかった。
- ・沖縄の歴史・文化を県民として知ってお くべきだと思った。

教育庁生涯学習振興課実施

第6回講座

【ヘルスプロモーションの視点で捉える 子供達の健康・体力と学力】

- ・運動と学力の関係等について理解、知識 を得たかった
- ・子育てに役立てたいので受講した。
- ・少しでも指導の役に立てることができたらと思い受講した。

教育庁生涯学習振興課実施

第7回講座

【ヒヌカンのはなし】

- ・身近にあるヒヌカンについて、役割など 正しく知りたい。
- ・ヒヌカンの歴史について知りたい。
- ・沖縄の慣習について知りたい。

教育庁生涯学習振興課実施

第8回講座

【沖縄のヒヌカンについて】

- ヒヌカンに興味があった。
- ・ヒヌカンはあるけれど、よく分からないから知りたかった。
- ・ヒヌカンについて知識がないから。

教育庁生涯学習振興課実施

第9回講座

【沖縄の名前のはなし】

- ・沖縄の名前は、変わった名前が多くてそ の由来等を知りたかった。
- ・自分の名字の由来について知りたかった。
- ・沖縄の歴史に関心があり、色々な事を知りたい。
- ・家系図作成の参考にしたいと思った。

教育庁生涯学習振興課実施

第 10 回講座

【琉球の城を歩く~in 座喜味城~】

- ・沖縄の城跡に興味があった。
- ・沖縄のグスク、歴史や文化、護佐丸について学びたい。
- ・座喜味城について知りたいと思った。

教育庁生涯学習振興課実施

第 11 回講座

【沖縄の位牌について】

- ・自分の家にも位牌があるから勉強のため。
- ・仏壇について、知識がなかった。
- 話を聞いてみたかった。

②広域学習サービス講座

国頭教育事務所実施

【イマドキ★スイーツ お菓子屋さんのスイーツ教室 第1回から第4回】

- ・お菓子作りに興味がある。スイーツを作ってみたかった。
- ・子供と楽しくお菓子作りを学びたいと思ったから。
- ・パティシエになりたいという娘の興味、関心を深めてあげたかった。
- 4回の全てのお菓子屋さんのお菓子が好きなので。
- ・夏休みの体験のひとつとして。

中頭教育事務所実施

【「ウエルカムんちゅになろう!多言語講座」第1回 (英語)、第2回(中国語)、第3回(韓国語)、第4回(スペイン語)】

- 英語を話せるようになりたい。
- ・学生時代を振り返り語学をもう一度勉強し たい。
- 興味があった。
- ・日本語以外の外国語で日常会話を話せるよ うになりたい。
- ・語学を中心に世界の国を知りたい。

那覇教育事務所実施

【野外フィールドワーク~アウトドアを楽しもう~ 第1回から第4回】

- ・色々な体験を、親子で参加出来る。
- ・おもしろそうだった。楽しそうだった。
- ・アウトドアの体験(自分では出来ないことが出来る)。
- ・昨年が楽しかったので、継続した。
- 夢中になれるから。

島尻教育事務所実施 【島尻は一つ『花と食でつながる地域づくり』 第1回から第5回】

- 何度か受講していて、毎回どの講座も楽しいから。
- ・花に興味・関心があり応募した。
- ・ 花が大好きで自分の希望に合った内容の講座だった。
- 知人からの誘い。
- ・花づくりについて基礎的な学習をしたかっ た。

宮古教育事務所実施

【第1回宮古島の灯台と遠見(火番盛)について、 第2回人頭税廃止運動を巡る宮古島の陰の立役者達、第 3回宮古島の争乱~与那覇原軍をめぐる~、第4回サト ウキビの歴史の学習と黒糖作りに挑戦!!】

- ・あまり知らない灯台の事などを知ってみたいと思った。
- ・人頭税のことを詳しく知りたいと思った。
- ・宮古の歴史について学びたい。
- ・郷土の歴史・自然・文化・産業等への理解を深めるため。

八重山教育事務所実施

【やいま再発見!第1回護符としての貝のいわれ、第2回やいまの夜空と星文化、第3回島素材の活用(ソーセージ作り)、第4回島素材の活用(薬膳料理作り)】

- ・講座の内容が充実しており、興味があった。
- ・地域(八重山・石垣)のことを知りたい。
- ・自身のスキルアップ、仕事や家庭に活かしたい。
- ・生涯学習に興味があり。
- ・開講回数が4回で、毎回参加できそうだから。

③学校開放講座

沖縄県立名護商工高等学校実施 【名護地域ガイドツアー】

- ・地域の歴史に興味があるため。
- ・地域おこしプロジェクトを考案中で高校生のガイドを参考にしたいため。
- ・ 高校生の目線、どういう意欲で取り組んでいるか興味があった。
- ・青少協の取り組みの一環として参加した。
- ・文化振興部のお誘いで参加した。

(3) 今後学習したいこと

①美ら島沖縄学講座

- ・沖縄の歴史(琉球史)、文化等、歴史建造物、史跡等
- ・沖縄の民俗学(生活文化、風習、慣習など)
- ・沖縄の文化、伝統芸能(琉歌・三線など)
- ・沖縄の近現代史(戦後史)
- ・琉球王国と中国・東南アジアとの関係
- ・琉球王朝時代の生活文化
- ・組踊の歴史的背景
- 方言について
- ・史跡等の地域巡りと歴史について
- ・地名の由来等について
- ・沖縄の伝統行事
- 門中について
- グスクの歴史
- ・ヒヌカンについて
- ・沖縄の自然について
- ・体力の付け方などの実践的な事
- 子どもの発達など教育に関することについて
- ・日々の生活に役立つようなこと

②広域学習サービス講座

- ・郷土料理や沖縄の伝統お菓子作り、アレルギー食について
- ・工作・手芸・(マスコット・小物作り・ビーズアクセサリー)、子供と作るお弁当 作り
- 各語学のレベルアップ
- ・沖縄の歴史、文化、名所について
- ・キャンプ体験(一度体験したら、家族だけでも出来そう)
- ・自然体験、野外活動(川遊び、山登り、星空観察、海など)
- ・クラフト (木工、陶芸など)
- 郷土に親しむ
- ・今回の内容は実用的で良い企画なので、同じような内容でお願いしたい
- 花についてもっと学習したい
- ・実のなる植物や多肉植物の学習
- ・開催地(南城市)の特産品をいかした食品づくり
- ・食品栄養学、健康栄養学、体操、パソコン、スマホの活用、デジカメの活用
- ・宮古島の自然、歴史、文化、伝統工芸(宮古上布など)について
- ・宮古島の民謡について
- ・遺跡や御嶽巡り
- ・八重山の歴史、文化、祭事など
- ・島の素材を使った郷土料理
- ・八重山の蝶と食草、動植物について
- ・挿し木、接ぎ木の仕方、枝のどの部分でカットするかなど

③学校開放講座

- やんばる地域の歴史をもっと深く学びたい
- ・地域おこしの実践を学びたい
- ・北部地区の平和学習について聞いてみたい

5 平成29年度おきなわ県民カレッジ 連携講座数

機関名	番号	29年及のさなわ宗氏カレック 連携神座数 講座実施団体	前期	後期	年間	合計
	1	国立劇場おきなわ	5	1	6	
(1)国•県関 係機関	2	国立沖縄青少年交流の家	0	1	1	135
	3	沖縄県立埋蔵文化財センター	2	0	2	
	4	沖縄県介護実習・普及センター	2	4	6	
	5	沖縄県消費生活センター	2	0	2	
	6	沖縄県立玉城青少年の家	20	11	31	
	7	沖縄県立図書館	1	2	3	
	8	沖縄県立博物館・美術館 博物館	32	17	49	
	9	// 美術館	15	6	21	
	10	パ 指定管理者美ら島財団	1	1	2	
	11	沖縄県公文書館指定管理者(公財)沖縄県文化振興会	7	4	11	
		沖縄県平和祈念資料館	0	1	1	
(2)市町村関係機関		那覇市立中央公民館	10	7	17	241
		那覇市若狭公民館	4	2	6	
		那覇市立首里公民館	3	5	8	
		那覇市立繁多川公民館	1	1	2	
		那覇市立石嶺公民館	10	4	14	
	-	牧志駅前ほしぞら公民館	9	4	13	
	_	那覇市立小録南公民館	10	7	17	
		沖縄市中央公民館	4	8	12	
		那覇市立中央図書館	1	1	2	
	22	浦添市立図書館	2	1	3	
		宜野湾市民図書館	3	2	5	
			1	1	2	
	25	宜野湾市立博物館	4	0	4	
	26	宮古島市総合博物館	3	2	5	
	27	嘉手納町教育委員会社会教育課	3	0	3	
		糸満市生涯学習支援センター	15	12	27	
		那覇市小禄老人福祉センターかりゆしうるく	34	34	68	
		ちゃたんニライセンター生涯学習プラザ	13	11	24	
		那覇市保健所健康増進課	1	1	2	
	_	浦添市教育委員会	0	7	7	
(3) 高等教 育機関		琉球大学	64	27	91	122
		県立芸術大学 附属研究所	5	6	11	
	35	県立芸術大学美術工芸学部	1	1	2	
		県立芸術大学	0	5	5	
		沖縄国際大学	10	2	12	
		沖縄県立看護大学	0	1	1	
(4)各種教育関係機関等	_	沖縄県かりゆし長寿大学校	59	7	66	780
		公益財団法人 おきなわ女性財団	2	0	2	
	-	沖縄文化健康センター ペアーレ沖縄・タピック	127	122	249	
		ウエル・カルチャースクール	228	227	455	
	43	・ウェル・カルテャースクール 沖縄県立博物館・美術館 博物館友の会	1	0	1	
	43		5	0	<u>ا</u>	
	45	日 三 派 央 云 公 益 財 団 法 人 ア イヌ 文 化 振 興 ・ 研 究 推 進 機 構	1	0	1	
		公益財団法人アイメス化振典・研究推進機構おきなわ県民カレッジ学友会	0	1	1	
	40	のこなり示氏パレック子及云	_		1 070	1 070
			721	557	1,278	1,278

6 資料

おきなわ県民カレッジ開設要綱

平成17年3月11日知事決裁

(目的)

第1条 県民の多様化・高度化する学習ニーズに対応するため、県内の生涯学習関連機 関が実施している講座等を総合的に体系化し、県民に生涯学習の機会を効果的に提供するとともに、学んだことを評価・活用する「おきなわ県民カレッジ」(以下「県民カレッジ」という。)を開設する。

(運営主体)

第2条 運営主体は、沖縄県教育委員会とする。

(講座の種別)

- 第3条 県民カレッジは、次の講座を開設する。
 - (1) 主催講座
 - (2) 連携講座
- 主催講座は、沖縄県教育委員会が主催する講座で広域学習サービス講座、学校開放

 - 講座及び美ら島沖縄学講座とする。
 (1) 広域学習サービス講座は、各教育事務所単位で実施するものとする。
 (2) 学校開放講座は高等学校(県立盲、ろう、特別支援学校の高等部を含む)、専修 学校及び各種学校の施設、設備、人材を活用して実施するものとする。
 - (3) 美ら島沖縄学講座は沖縄県教育庁生涯学習振興課が企画する講座、講演、シンポ ジウム等とする。
- 連携講座は、国、県、市町村、高等教育機関、各種関係機関等が実施し、沖縄県教育 委員会が認めるものとする。 4 講座の実施に関し、必要な事項は別に定める。

(受講資格)

第4条 受講者は主として沖縄県内に居住する者とする。ただし、連携講座については 第3条第3項の規定する機関が定める。

(学長等)

- 第5条 県民カレッジに学長及び副学長を置く。
- 2 学長は、知事をもって充てる。
- 3 副学長は、教育長をもって充てる。

(運営委員会)

- 第6条 県民カレッジの運営に関する重要な事項について、有識者の意見を聴取するた め、運営委員会を置く。
- 運営委員会は10名以内をもって組織し、委員は学長が選任する。
- 運営委員会に関し、必要な事項は別に定める。

(事務局)

- 第7条 県民カレッジの事務を処理するために事務局を沖縄県教育庁生涯学習振興課に
- 事務局長は、沖縄県教育庁生涯学習振興課課長をもって充てる。

第8条 この要綱に定めるもののほか、県民カレッジの運営に関し必要な事項は別に定 める。

(附則)

- この要綱は、平成17年4月1日から施行する。
- この要綱は、平成19年5月14日から施行する。
- この要綱は、平成20年4月1日から施行する。

おきなわ県民カレッジ主催講座実施要項

平成17年 4月28日 教 育 長 決 裁

(目的)

第1条 おきなわ県民カレッジ開設要綱第3条第4項の規定に基づき、おきなわ県民カレッジ主催 講座(以下「主催講座」という。)の実施に関し必要な事項を定める。

(実施機関)

- 第2条 主催講座の実施機関は、次のとおりとする。
 - (1) 美ら島沖縄学講座は、おきなわ県民カレッジ事務局(沖縄県教育庁生涯学習振興課。以下「事務局」という。)が実施する。
 - (2) 広域学習サービス講座は、各教育事務所が実施する。
 - (3) 学校開放講座は、県立学校(県立盲、ろう、特別支援学校の高等部を含む)、専修学校及び 各種学校が実施する。

(実施計画書等の提出)

第3条 実施を希望する機関は、おきなわ県民カレッジ主催講座実施計画書(様式1)とおきなわ 県民カレッジ主催講座事業費見積書(様式2)を事務局に提出するものとする。

(実施機関の決定)

- 第4条 おきなわ県民カレッジ学長(沖縄県知事。以下「学長」という。)は、前条の実施計画書 等の内容等を審査し、実施機関を決定する。
- 2 前項により、学長は決定の通知を行うとともに、必要に応じて委託業務契約を締結する。

(受講者)

第5条 受講者は、主として県内に居住する者とする。

(受講者の募集及び決定)

第6条 受講者の募集及び決定は、実施機関の長が行う。

(修了証の授与)

第7条 総時間の7割以上の出席者に修了証を授与することができる。

(講師)

- 第8条 講師は、学長が委嘱する。
- 2 学校開放講座の講師は、原則として実施機関である学校の教職員とする。ただし、学習の内容 により外部講師を依頼することができる。

(経費の負担)

- 第9条 事業に必要な経費は、事務局が負担する。ただし、受講者に直接還元される教材費等は、 受講者の負担とする。
 - (1) 事務局は、教育事務所及び県立学校に対して、予算の範囲内で講座実施に必要な経費を令達するものとする。
 - (2) 学長は私立高等学校、専修学校及び各種学校に対して、おきなわ県民カレッジ主催講座委託業務契約書に基づき必要な経費を支出するものとする。

(事業報告書)

第10条 実施機関は、おきなわ県民カレッジ主催講座事業実績報告書(様式3)、おきなわ県民カレッジ主催講座集計表(様式4)及びおきなわ県民カレッジ主催講座事業精算書(様式5)を講

座終了後30日以内に作成し、学長に提出しなければならない。

(受講者の責任)

第11条 講座の受講者は、受講に際し、実施機関の施設又は設備に損害を生じさせた場合には、その損害を賠償するものとする。ただし、学長がやむを得ない理由があると認めた場合は、賠償額を減額し、又は免除することができる。

(実施上の事務)

第12条 この講座の実施に関する事務は、事務局が処理する。

(補則)

第13条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附則

- 1 この要項は、平成17年4月28日から施行する。
- 2 沖縄県広域学習サービス体制整備事業実施要綱(平成14年3月27日教育長決裁)、沖縄県広域学習サービス事業開設要項(平成10年7月30日教育長決裁)及び沖縄県学校開放講座実施要綱(平成6年6月1日教育長決裁)は、廃止する。
- 3 この要項は、平成20年4月1日から施行する。
- 4 この要項は、平成24年4月13日から施行する。

おきなわ県民カレッジ連携講座実施要項

平成17年4月28日 教 育 長 決 裁

(目的)

第1条 おきなわ県民カレッジ開設要綱第3条第4項の規定に基づき、おきなわ県民カレッジ連携講座(以下「連携講座」という。)の実施に関し、必要な事項を定める。 (実施機関)

第2条 連携講座を主催する機関は、国、県、市町村、高等教育機関、各種関係団体等の 機関とする。

(講座)

- 第3条 連携講座は、県民に対して開かれた生涯学習に関する講座とする。次の各号に該 当する講座は、連携講座として承認しないものとする。
 - (1) 県及び主催団体職員のみを対象とした職務上の講習会や研修会
 - (2) 特定の宗教や政治思想の普及を目的とした講習会や研修会
 - (3) その他沖縄県教育委員会教育長(以下「教育長」という。)が、不適当と認めた もの
- 2 連携講座の主催者は、連携講座の表示をするものとする。
- 3 講座は、おきなわ県民カレッジ運営要項第9条第1項第2号に定める講座体系に分類 するものとする。

(申請等)

- 第4条 連携講座の主催者は、おきなわ県民カレッジ連携講座申請書(様式1)により教育長に申請する。
- 2 教育長は、前項の申請書に基づき審査を行い、適当と認められるものについては承認し、おきなわ県民カレッジ連携講座承認書(様式2)により通知するものとする。

(受講者の募集及び決定)

第5条 受講者の募集及び決定は、各実施機関が行う。

(単位の認定)

第6条 連携講座の単位認定は、学長が行う。

(経費及び運営)

- 第7条 連携講座の開設及び運営に要する費用は、すべて各実施機関が負担するものとする。
- 2 この要項に定めるもののほか、講座の運営に関することは、各実施機関が行う。 (補則)
- 第8条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附則

この要項は、平成17年4月28日から施行する。

附則

この要項は、平成22年9月2日から施行する。

平成29年度 おきなわ県民カレッジ報告書

(平成30年3月発行)

発行 沖縄県教育庁生涯学習振興課 生涯学習推進センター

〒900-0029 沖縄県那覇市旭町116-37 (南部合同庁舎4階) TEL 098-864-0474 FAX 098-864-0476 http://www.pref.okinawa.jp/edu/shogaigakushu/center